



浅野みえ子

無所属

所沢市議：市政レポート NO.31 2012年 8月 吉日

暑さに負けずにみな様お元気な事と思います。6月定例会の議会報告をいたします。6月定例会は、国の子ども手当が「児童手当」に変更されて、それに伴うシステム変更と手当の予算額が議案提出されて可決しました。児童手当に変更した事で、県と市からの持ち出し金額が、1億1,400万円増えました。（負担は国4/6・県1/6・市1/6です）

国が乳児のポリオ予防のワクチンを「生」から「不活化」に変更した為に「不活化ポリオワクチン予防接種費」の経費が国から来て可決されました。

又、請願が2件出ました。

1. 狭山ヶ丘中学校に冷房整備を願う件
2. 東日本大震災により生じたがれきの処理に関する件（詳細は、3面に説明）

私は1年間努めた議会運営委員長の職を無事終了しました。先に2月に民主党を辞め「無所属議員」になった事を報告しましたが、6月には会派も変更しました。

至誠クラブ
の構成議員

市内のローカル紙「家庭新聞」6月22日に記載されました

至誠クラブに入会した浅野市議

議運営委員長辞職の時点など真意説明

所沢市議会6月定例会の初日（15日）に会派「民主ネットリベラルの会」を脱会し、会派「至誠クラブ」に入会した浅野美恵子市議にその理由など話を聞いた。

浅野市議は、今年2月に民主党を離党している。これについては「暮れに野田総理が、福島第一原発事故に、収束宣言をした時びっくり悲しくなり、怒りも感じた。被災者の方々の生活再建が進まないし、廃炉も困難で、収束の見通しも遠い中、収束宣言を出す民主党の国政運営に付いて行けなくなり、又地方議員として応援する気持ちも離れ、離党届けを県連に提出し2月

に受理された」と説明しており、これまで離党しながらも「民主」の名のついた会派に所属していたことに対し、地域からも違和感を持つ声が多く聞かれていた点について指摘すると「議会運営委員長としての立場にあり、途中で会派を抜けたりした場合に議会内に混乱も考えられた為、委員長の職を辞することになった時点で会派を離脱しようと考えていた」と説明した。

さらに、至誠クラブに入会した理由については「理念・考え方が最も近いこと」とした。

代表は秋田たかし議員（所沢：旭町）・中村とおる議員（松井：東所沢和田）・桑島けんや議員（新所沢：緑町）・荻野やすお議員（三ヶ島：糞谷）・杉田ただひこ議員（柳瀬：坂の下）

浅野みえ子（吾妻：北秋津）です



私の一般質問



教育長と市長の見解が違います。残念

全国的に2学期を3学期制に戻している・当市も3学期制に戻すべきないか 浅野質問

2学期制は、学校が週5日制になった時に教職員の労働条件から見て、文科省が提案し始まった制度。実施してみて保護者や現場がなじめなくて3学期制に戻している自治体が多い。

(24年度：埼玉県下の全小・中学校で2学期制を実施しているのは13.1%) 当市が24年度も2学期制と決定するまでの経過だが「学び改善プロジェクト委員会」で決めたと言うが、この委員会は教育長の部下が多い。又、校長会で決めたと言うが校長や教員の人事を決めているのは教育長なので、これらの決め方に保護者や教職員の意見がなんら反映されていない。私は、公平性の点から疑問に思う。私は、子どもの立場で子どもの視点で考えて欲しい。長年、現場で教鞭を取られた教育長は子どもの視点からどう考えるのか？

佐藤教育長答弁

2学期制は、授業時間が確保出来るし、長いスパンで指導できる。私は、校長の経験から2学期制は子どもの学力、体力を育てる有効な制度の1つと考えていて、3学期制が悪いと思っていない。

浅野質問

子どもは授業で受けた内容を短期間でテストした方が勉強する意欲が湧くし成功する。1学期の定期テストは7月にすべきなのに2学期制だと9月にテストだ。また、夏休み前に通知表を貰う事が、子どもや家族にけじめをつける事だ。夏休みに9月テストの事を考えていては子どもが夏休みにリラックス出来ない。また、私学高校受験に当市の生徒だけが通知表を1つしか提示できなくて、不利ではないか？

佐藤教育長答弁

本市では2学期制の良さを生かしながら教育を充実させたい。私立高校受験に関しては、私立高校協会と話し合った。不利益は生じていない。けじめについてだが、1番大事なのは1年を通した教育環境だ。今は、子どもが学校に満足している割合が8割～9割だ。

浅野質問

22年5月に教育委員会が、一部の方に実施したアンケート結果だが「中学生の保護者の57%が、3学期制にもどして欲しいと回答している。また、3学期制に戻して欲しいと62%の中学校の教職員が回答している。教育長は、全保護者にアンケートを実施しないと言われている。この点での市長の見解を？3学期制・土曜日開校についての市長の見解も伺いたい？

藤本市長答弁

3学期制で定期テストを3回した方が、勉強の範囲が短いし生徒も節目、節目で目標を持てる。私の経験では、「オール4」の子どもも夏休みになったら遊ぶと思う。9月にテストがあるからと、勉強はしない。夏休みは解放される時期で良いし、節目となるように、7月に通知表をもらって、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんに見てもらい、次への励みにした方が良いと思う。このようにけじめを作って夏休みを迎えるのが良い。低学年が6時間授業をするより、土曜日開校をして先生と触れあったり、部活に励めば良い。私は、3学期制を公約に掲げて当選した。アンケートを全保護者に実施して民意を確かめて欲しい。

東日本大震災への義援金が被災者に渡っているかを市が率先して市民に報告すべき

浅野質問：市の集めた義援金の総額は？ 被災者に渡っているのかを市民に報告すべきです？

保健福祉部長答弁：

・平成24年5月末で8,728万3,643円。全額、日赤埼玉県支部に渡した。義援金額については市のHPや広報で報告している。又、配分割合決定委員会で配分が決まり全被災者に渡っている。

浅野質問：

・日赤のHPを開くと、全被害者に配分された事は書いてあるが、それを知る市民は少ない。義援金の総額だけではなく、市が率先して市民に全被災者に配分されている事も、知らせるべきだ。それが市民に対する当たり前の市役所だ。「超親切になる前に当たり前の事をして欲しい」と、最後に発言しました。

なお、決定された配分金額は、第1配分として

・「死亡・行方不明者：1人当り35万円」 ・「住宅全壊（全焼）：1戸当り35万円」

・「住宅半壊（半焼）：1戸当り18万円」 ・「原発避難指示等：1世帯当り 35万円」

第2次配分として、震災孤児・遺児等の全被災者支援に配分する（教育基金を造ったとの事）

所沢駅西口ゴミ箱・これで良いのか？ 吾妻自治連会長が市と話し合い中・・・



請願の説明

議員の気持ちは分かるが、財政的に組み替えながら何とか行っている。今後、まちづくりセンターを中心に地域協議会が発足すると思うので、その際には報償金を検討したい。

藤本市長答弁

活動を応援すべきだと思うが。

自治会・町内会活動を応援して！
浅野質問
地域住民の交流作りや安全パトロール等をしている自治会・町内会活動が活発化している。近年、行政からの依頼や回覧板が増加して支出も増えているのに、市の奨励金や補助金が減額されているので厳しい。又、住民が協力している集団資源回収の奨励金も、この4年間で1Kにつき2円も下がった。社会福祉協議会への寄付金も町内会費から出している。もっと、市は活動を応援すべきだと思うが。

狭山ヶ丘中学校に冷房整備を願う件

狭山ヶ丘中学校 PTA や地域住民が16,005名の署名を添えて議会に。市は、平成18年度に「入間基地近隣の防音校舎の整備方針を決め、宮前小、狭山ヶ丘中、北中小の3校にエアコン設置（総事業費：3億1,200万円で国の補助金が60%弱有）が進んでいた。既に宮前小には設置済み。24～25年度で狭山ヶ丘中に設置工事予定だった。が、藤本市長が「東日本大震災、原子力発電所の事故後、価値観を変えるべき。今までも、暑い時は窓を開けて授業をしてきた。国・県・市も財政は厳しい。教育は市の重要課題なので、国の補助金と市の借金を断ち「人」に充てた」と、この事業を停止。議会は賛成多数で請願を採択。議会では「エアコン設置を求める決議」も可決されている。私は、行政の継続性を考えて「請願と決議」に賛成。

東日本大震災の「がれき処理」 所沢市も受け入れる事を願う件

市民環境常任委員会で審議されて採択にはなりませんでした。採択を出来ない理由は「市には最終処分所がなく米沢市の埋め立て地をお願いしている。市にがれきをトラックで運搬し、焼却灰を米沢に運搬するより、被災地で焼却して米沢に運搬した方が自然」との事です。現在、埼玉県に依頼したががれきの処理量が国の方針で縮小されたので、埼玉県が市町村自治体に依頼しなくても民間工場で全量を処理できると県が発表しました。

活動報告：みな様の声をお聞きしています

- 5月
- 1日：ところざわ茶祭り（航空公園駅前・役所）
 - 2日：北秋津小学校歓送迎会（PTA・愛校会）
 - 7日：「国立・秩父学園」市との連携をと視察
 - 8日：鳩峯公園せせらぎの広場へ
 - 9日：「障害者の地域生活基盤整備を進める会」
 - 10～11日：日本自治創造学会研究会
 - 12日：吾妻地区体協・学校開放総会懇親会
 - 13日：「北秋津・歌と踊りの会」
 - 15日：第1回「議員定数のあり方審議会」
 - 20日：郷土美術館へ：久米「山崎政子手鞠展」
：西所沢西口開設「期成会総会」
：所沢市民吹奏楽団第36回コンサート
 - 21日：「虹の会」学校図書室へ図書司書を！
所沢織物文化研究会：所沢市の歴史研究
 - 23日：「5月教育委員会」傍聴
 - 24日：川口市教育委員会へ視察（3学期制）
 - 25日：議会運営委員会（6月定例会の日程等）
 - 26日：第12回「議会報告会」三ヶ島公民館
 - 27日：環境美化デー・睦会総会（コーポラス）
 - 28日：港区教育委員会視察（3学期制で）
 - 30日：議運視察の対応（兵庫県三田市議会来庁）
 - 31日：議運視察の対応（高崎市議会来庁）
 - 6月2日：東川地下河川工事竣工記念式典（完成）
 - 3日：北秋津小学校「七夕祭り」（北秋津ネット）
 - 6月15日～7月6日：24年度6月定例会
 - 10日：西武車両工場跡地含む開発・地権者説明会
 - 11日：放課後子ども健全育成基本方針運営委員会
 - 16日：北秋津「写真好展示会」第2市民ギャラリー
 - 24日：第1回さくら会カラオケ大会・吾妻公民館
 - 25日：南陵中学校愛校会幹事会
 - 30日：市の仕事公開評価を傍聴
「脳科学学習会」桑原清四郎先生
 - 7月8日：東住吉町内会お祭り（八坂神社祈願祭）
北秋津町内会高木前会長の掲額式へ
 - 9日：第34回所沢市社会福祉大会（ミューズ中）
 - 12日：学び改善プロジェクト委員会（教育委員会）
 - 14日：鳩峯わかたけ保育園と松が丘納涼会
 - 15日：北秋津八雲神社（お天王様）火渡り祭り
 - 18日：「男女共同参画審議会」傍聴
 - 22日：南住吉町内会納涼会（南小）
 - 25～26日：南相馬市等被災地視察へ会派視察
 - 27日：教育福祉常任委員会（認定子ども園検証）
 - 8月4日：北秋津町内会「盆踊り大会」



今年3月に新校舎になった
「松原学園」（中富地区）
屋根は太陽パネル有りの
児童発達支援センターです

みえ子のおしゃべり

昨年6月に廃止された地方議員年金。それなのに、総務省が地方議員の厚生年金加入案を示したそう。案は加入により年間170億円の公費負担が生じます。「議員も国民年金にする」と決めた政治理念とまたもやずれている政府案に憤りを感じていたら、政府の次の狙いとしては「地方議員の後には、国会議員も厚生年金加入する」との方針があるそう。そう言えば、安住財務相が6月5日に「議員年金廃止は、果たして冷静に考えるかどうか？」「国会で答弁しました。消費税増税を国民にお願いする大臣が、身を切るどころか国会議員年金に未練ありありでは政権交代は、何だったのか？と、思わざるを得ません。法案が通らないように国会議員の常識に期待します。所沢市議会は自ら廃止した事があります。定例会で議会や委員会に出席すると交通費、昼食代の名目で費用弁償が1日3000円支給されてきました。これは市税の無駄使いだと、5年前に全会一致で廃止されました。（約100万円強削除）自分達の事は、自分たちで決められる例です。私は、議員年金復帰には反対です。

浅野みえ子自宅は

北秋津876-3所沢コーポラスH204

浅野みえ子事務所：くすの木台「ココス2軒先」

TEL (2995) 1463

FAX (2991) 3538

メール asanomieko@nifty.com

HP有り：日々の活動をブログで記録しています
浅野みえ子と検索して下さい。すぐ出ます